

# でんち

社団法人 **電池工業会**

BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011

東京都港区芝公園三丁目5番8号

機械振興会館内

電話 (03) 3434-0261 (代)

ホームページ <http://www.baj.or.jp/>

ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>

発行人 中谷謙助

平成24年3月1日

## 今年度も「蓄電池設備整備資格者」に1031名が合格

平成23年度の(社)電池工業会「蓄電池設備整備資格者」本講習は、平成23年6月23日～24日開催の北海道会場を皮切りに、平成24年2月1日～2日開催の福岡県会場まで、全国11の会場で実施され、多数の受講者の参加を得て全日程が無事終了しました。

近年、経済の高度な発展や社会・生活環境の複雑化に伴い、大規模・高層の防火対象物及び地下街等が拡大し、消防用設備等の設置基準が強化されています。これら消防用設備等に附置される非常電源として、蓄電池設備は非常に重要なものとして位置付けられており、火災、その他の災害等で常用電源の供給が停止した場合は確実に機能しなければなりません。そのためには常日頃から適正な維持管理が不可欠です。

(社)電池工業会は、消防設備等に用いる蓄電池設備を維持管理するため、専門的な知識や技能を有する「蓄電池設備整備資格者」本講習を、平成23年度も下記11の会場で実施しました。また、有資格者向けの「蓄電池設備整備資格者」再講習を、別途16

の会場で実施しました。

その結果、今年度は新たに1031名（合格率96.3%）が合格し有資格者となりました。

実施会場および合格者は下記の通りです。



(本講習)

実施地	実施日	実施会場
北海道	平成23年 6月23日 ~24日	札幌市 (北海道建設会館)
宮城県	平成23年 7月25日 ~26日	仙台市 (宮城県管工事会館)
愛知県	平成23年 8月30日 ~31日	名古屋市 (愛知県産業労働センター)
沖縄県	平成23年 9月14日 ~15日	宜野湾市 (健康文化村カルチャーリゾートフェストーネ)
大阪府	平成23年 9月20日 ~21日	大阪市 (たかつガーデン)
愛媛県	平成23年 9月27日 ~28日	松山市 (愛媛県水産会館)
東京都	平成23年10月13日 ~14日	千代田区 (自治労会館)
香川県	平成23年10月24日 ~25日	高松市 (サンポートホール高松)
神奈川県	平成23年12月 1日 ~ 2日	横浜市 (神奈川県電気工事会館)
広島県	平成24年 1月26日 ~27日	広島市 (広島県情報プラザ)
福岡県	平成24年 2月 1日 ~ 2日	福岡市 (福岡市民防災センター)

## 平成23年度新規合格者

(あいうえお順・敬称略)

青木 克典	新井 敏浩	石黒 義英	伊藤 喜章	上野 和樹	江原 郷	大槻 貴永	岡本 知哉
青木 茂	荒木 欽也	石崎 則孝	糸賀 大輔	上野 圭介	榎本 洋二	大坪 賢也	小川 英一
青木 利久美	有賀 忠司	石田 大介	稲垣 孝治	上野 貴志	遠藤 和広	大坪 潤平	小川 佳寿男
青木 寛明	有賀 敏治	石田 正樹	稲垣 岳人	上野 正人	遠藤 貴志	大中 和則	小川 知也
青城 雅治	有福 健志	石田 雅彦	稲毛 亮介	上原 修	遠藤 竜一	大西 一隆	小川 基樹
赤坂 陽一郎	飯田 英行	石塚 清美	稲田 寿男	上原 淳	及川 喜世隆	大西 淳三	沖野 克嗣
阿形 幸信	飯田 健児	石橋 誠司	稲田 雅治	上原 誠司	及川 貴晴	大西 庸久	荻原 智洋
赤平 健	五十嵐 功一	石橋 孝行	乾 太一	上間 司	大内 雄司	大野 隆弘	奥田 法行
秋山 孝行	五十嵐 正	石橋 伸康	井上 芳	請川 竜夫	大久保 茂樹	大野 忠雄	奥野 順一
秋山 久幸	五十嵐 規純	石原 歩	井上 智至	潮 祐治	大久保 正洋	大場 規広	奥野 道美
浅井 孝弘	五十嵐 冬樹	石丸 修一郎	井上 潤	後田 孝文	大久保 義司	大橋 健太郎	奥山 善行
浅田 敬太郎	池内 栄一	石丸 昌男	井上 誠	碓井 哲治	大倉 洋介	大橋 智一	小倉 敏伸
東 伸也	池田 一喜	泉谷 圭祐	猪原 祐樹	碓井 治男	大島 在喜	大平 賢治	尾崎 光
東 直之	池田 義邦	一字 正彦	猪又 聖明	内田 章	大城 要	大淵 正和	尾崎 文昭
安立 一幸	池谷 大志	市川 恵三	今井 精治	内田 勲	大城 健二	大宮 亮	尾崎 光俊
安立 佳一郎	池野 篤志	市川 輝彦	今莊 貢	内田 正行	大城 正馬	大山 康夫	小澤 直浩
足立 順	池部 徹男	市川 直樹	今村 敏也	内広 哲治	大城 弘明	大脇 泰成	小沢 正明
足立 旬	池山 和男	市川 浩和	今村 勇人	内山 松弘	大曾根 英広	大和田 薫	尾関 基弘
我妻 正一	伊佐 真一郎	一瀬 常幸	伊與 之敏	梅川 浩	大田 和利	岡 知未	小田 克仁
阿部 勲	井澤 友伸	井出 法之	岩崎 智成	梅木 俊彦	太田 金一	岡 竜司	小田島 孝義
阿部 和弘	石井 孝博	出津 卓	岩崎 正慈	梅田 耕市	太田 天	魚返 孝文	越智 一寿
阿部 貴博	石井 規夫	伊藤 公一	岩下 薫	梅津 佳祐	太田 多加志	岡崎 隆広	越智 寛
阿部 隆光	石井 裕崇	伊藤 孝三	岩本 浩孝	梅村 雅幸	大田 法正	岡田 誠司	音澤 悟
阿部 隆之	石岡 雅洋	伊藤 伸二	上運天 祐樹	宇山 隆久	太田 博之	岡野 啓一	尾野 清
阿部 廣行	石川 盛文	伊藤 隆宏	上岡 博志	浦川 正人	太田 勝	岡野 隆	小野 智
阿部 真和	石川 豊和	伊東 直紀	上田 真義	漆山 浩二	太田 幹雄	岡部 慶太	小野 満
安部田 剛	石川 勝	伊藤 正樹	植中 良成	江川 重行	大谷 武志	岡本 一則	小野 友輝
新井 敏夫	石樽 誠二	伊藤 雄一	上野 晃羅	江口 輪	大塚 祐矢	岡本 光平	小野田 敬明

小畑 幸悦	河野 優希	熊野 裕史	米田 修一	佐々木 雅俊	下成 広秋	園部 行次	多地 和馬
小原 大地	川原 邦当	熊淵 敬夫	呉屋 健	佐々木 優	下山 章	大門 義光	刀川 務
小原 雅勝	川又 享	隈元 一弘	小屋 忠幸	佐々木 吉和	城野 彰一	平 和保	立花 秋広
大日方 富雄	河村 幸明	久米 明	呉屋 隼人	笹原 裕史	白井 隆	平良 正彦	舘山 昇平
面川 正史	河村 教生	倉田 雅之	小柳 晃一	佐竹 弘幸	白石 敦勇	平良 実	田中 明博
親里 武	河村 宏臣	操田 健一	是枝 喜哲	佐藤 淳	白河 宏敏	高岡 哲久	田中 健吾
小山 光司	河村 祥隆	黒木 國昭	権田 高志	佐藤 競	白谷 明	高木 競	田中 俊一
折登谷 徹	河原木 宏昌	黒木 智之	近藤 淳路	佐藤 研	新行内 淳	高木 輝雄	田中 春義
嘉数 吉記	菅 厚忠	黒木 秀彦	近藤 友寛	佐藤 忍	新宮 吉織	高木 誠	谷上 哲生
鏡 清	神野 寛士	黒木 康浩	権藤 雅人	佐藤 昭一	新城 壮一	高桑 靖知	谷口 桂朗
垣内 峻	神林 誠	黒田 和寿	今野 全	佐藤 貴志	新城 雄太	高崎 茂樹	谷本 正樹
垣花 晋司	喜島 哲洋	黒田 正	今野 勇雄	佐藤 哲夫	新城 佑斗	高砂 宏明	駄原 清隆
垣見 守男	喜多 哲也	桑嶋 宏	齋藤 正	佐藤 裕覚	甚野 伸雄	高嶋 俊仁	玉置 茂人
柿本 祐平	北川 英作	桑原 篤央	齊藤 敏文	佐藤 宏之	新屋敷 隆行	高瀬 智之	玉城 朝弘
我喜屋 満	北川 健司	小網 健太郎	齋藤 弘樹	佐藤 文俊	末吉 寛志	高田 敬介	玉城 穰
蔭川 雄二	北島 昌之	小家 良介	齊藤 二三男	佐藤 雅俊	菅原 和彦	高田 末己	玉那覇 勇
葛西 宏	北村 卓也	神崎 由幸	齋藤 文二	佐藤 真澄	菅原 俊夫	高野 文隆	玉那覇 真澄
笠井 康行	城戸 基	幸沢 隆弘	齊藤 大	佐藤 裕一	菅原 敏範	高橋 一晃	田水 英明
笠原 伸吾	鬼頭 道輝	光澤 英雄	齋藤 芳浩	佐藤 雄典	菅原 豊和	高橋 一彦	保 剛章
糟谷 台	喜納 勇樹	江水 哲也	阪 浩伸	佐藤 義樹	菅原 寛之	高橋 健	田保 由香利
粕谷 優樹	木下 武	古賀 道広	酒井 邦明	佐藤 義幸	杉浦 義和	高橋 正悟	立花 久佳
片山 真樹	木下 雅和	小亀 一重	坂井 貴臣	里中 太作	杉江 康夫	高橋 堅世	知念 弘光
勝井 健二	木下 雅哉	小久保 守	酒井 雅雄	實松 明彦	杉崎 浩二	高橋 徹	知念 文雄
勝田 一弘	儀間 勇喜	小酒井 雄介	坂口 明	佐野 貴之	杉田 悟	高橋 利守	千野 英樹
勝野 日出登	木村 勇夫	腰高 大樹	逆井 弘	佐谷 克己	杉原 学	高橋 秀樹	千葉 更児
加藤 尊明	木村 和広	越野 義幸	坂下 和也	澤井 宏行	杉山 大樹	高橋 浩人	張 彦芳
嘉藤 浩志	木村 仁	小関 宏志	坂田 栄児	澤田 里志	須崎 公幸	高橋 博之	張 増楨
加藤 弘幸	木元 勝吾	五関 洋貴	坂田 淳	澤田 寛明	鈴木 篤志	高橋 征揮	塚本 康夫
上遠野 勝則	興野 晃司	小鷹 正	坂田 望	残間 祐治	鈴木 健郎	高橋 善紀	辻井 伸長
門脇 本武	桐山 茂	児玉 恵太	坂谷 祐一郎	塩野 繁男	鈴木 公大	高橋 良	辻野 晶久
金井 武	金城 勝也	後藤 健志	坂詰 佐三	志賀 武史	鈴木 真一	高松 剛	辻村 英人
金澤 健一	金城 清俊	後藤 英成	酒卷 秀幸	重野 洋志	鈴木 伸彦	高山 富雄	辻村 義輝
金澤 弘樹	金城 忠樹	五頭 泰誠	坂本 伊織	篠田 幸一	鈴木 宏和	滝澤 直人	土江 正
金澤 芳隆	草野 聡	小西 祐輔	坂元 大翼	篠原 賢治	鈴木 弥一	田北 文彦	土田 和弥
金森 政敏	具志堅 興秀	小長谷 直美	坂本 剛生	筱原 正俊	鈴木 洋一	瀧本 俊太郎	土田 登
蟹井 正士	具志堅 琢哉	小畑 典生	佐川 恭一	柴田 和義	砂辺 章	瀧本 進	土室 厚司
兼島 孝司	具志堅 徳明	小林 賢一	先間 昭二	芝田 正幸	須之内 紀夫	卓島 輝幸	土屋 純也
神野 公作	楠瀬 智也	小林 宏祐	崎山 喜也	柴原 秀一郎	住川 和明	武井 友成	角田 茂男
紙谷 武志	葛原 正博	小林 大輔	作田 武嗣	澁田 政紀	隅田 拓也	竹内 裕人	坪田 豊和
神山 圭介	楠本 英俊	小林 岳和	佐久間 野亜	渋谷 智士	関 進次	竹田 諭史	坪根 賢次
亀田 寿幸	工藤 靖典	小林 丈洋	櫻庭 公樹	志摩 浩利	関 隆広	武田 敏英	露木 敏巳
亀山 直樹	工藤 康裕	小林 忠夫	廻口 力哉	島 有希	関口 修一	竹ノ内 清次	出川 卓
柄澤 一夫	國仲 大輔	小林 隆一	笹尾 将文	島添 謙	関口 輝男	竹葉 幸喜	出口 剛史
川井田 浩司	窪田 恵介	小林 隆治	笹川 良博	島田 元司	関本 勝啓	武村 昇	手塚 涉
川口 史朗	久保田 修二	古原 篤史	佐々木 勝教	清水 慶太	世古 太一郎	竹村 浩	寺越 博士
川下 耕二	窪田 光秀	小松 晋	佐々木 孝将	清水 賢司	瀬戸 朱美	竹本 良久	寺園 光一
河島 康雄	窪田 洋一	小松 正義	佐々木 利文	清水 智弘	瀬戸 英悟	武山 照夫	寺本 晋祐
川名 恒雄	久保山 弘樹	小松 真人	佐々木 紀和	清水 久義	瀬戸 富美雄	田崎 明男	寺本 善博
川邊 幸司	熊谷 巖	五味 実	佐々木 英樹	清水 英明	千徳 健司	田崎 政和	天間 明
河野 寛治	熊谷 一誠	小宮山 恵介	佐々木 匡海	下岡 一成	十川 敏之	田島 和明	土肥 豊和
川野 博之	熊谷 昌英	米須 清治	佐々木 正人	下川 孝一	園田 繁博	田嶋 仁	土井 宏

當眞 嗣明	中塚 教夫	沼山 雅人	日高 正樹	古矢 和実	間山 一芳	村杉 伸基	山根 崇史
當山 清敏	中務 隆重	根間 慶	日高 雄次	古屋 真一	丸尾 一樹	村田 剛視	山根 誠
遠山 二郎	長友 慶一郎	根間 司	日向 繁由規	古屋 美里	丸岡 悟	村田 博	山宮 潤
戸賀沢 学	中西 誉則	野口 幸雄	日比野 享	古山 基文	丸本 尚秀	村田 浩之	山本 一政
渡嘉敷 直洋	中野 誠治	野口 雅行	日向 翔	星 宏樹	三浦 和法	村田 雅彦	山本 康一
徳永 茂治	永野 拓也	野崎 清人	檜山 克敏	星 宏昌	三上 穰	村松 典宜	山本 隆之
徳本 篤弘	永野 拓郎	野沢 太郎	日山 益孝	星出 賢二	三木 啓介	持田 守	山本 武
徳本 満治	中野 武史	野澤 司	平得 祐輔	星野 大輔	三木 博	望月 克真	山本 尚樹
戸澤 正美	中ノ瀬 和美	野中 隆志	平湯 学	星野 悠佑	三國 勝之	本橋 努	山本 良
戸島 照正	永藤 政敏	野村 直史	平川 裕文	保積 孝行	見澤 克暢	本谷 純	弓削 浩一
殿内 克寿	長嶺 新一	野村 大法	平栗 和明	細江 勲	西 光治	初田 直樹	横井 健
富岡 秀雄	長嶺 竹志	野村 良晴	平野 由和	細江 洋三	三島 孝文	桃江 真司	横山 滋久
富田 耕二	仲嶺 泰孝	袴田 和茂	平橋 義弘	細越 松一	三島 寿紀	桃田 友臣	横山 大輔
富永 実宏	中村 邦男	箱崎 安洋	平原 圭一郎	細谷 和弘	水城 隆広	森 泰幸	吉岡 友貴
富久 敦	中村 省吾	橋場 敬二	廣島 幹哉	細谷 善博	水谷 弥仁	森田 和成	吉川 重則
富山 勲	中村 敏文	橋本 昭彦	廣田 光	堀 三根治	水野 雅紀	森田 貴博	吉川 文和
供田 恒太郎	中村 直寿	橋本 和則	広田 稔	堀江 健一	水野 雄介	森永 浩輝	吉田 昭雄
友寄 隆之	中村 直也	橋本 武典	深田 光一	本田 慎一郎	水原 勇治	森山 裕輔	吉田 頭
外山 浩之	中村 秀政	橋本 建城	福岡 和仁	本田 宗昌	水本 恭央	諸見里 和正	吉田 一輝
鳥居 宏志	仲本 力	橋本 亘	福岡 博文	本間 弘樹	御園 康之	諸見里 安之	吉田 勝
鳥越 潤	中山 享	長谷川 敦彦	福ヶ迫 和保	眞榮喜 淳	溝渕 健夫	柳下 房雄	吉田 敬
砥綿 翔平	中山 裕記	長谷川 浩二	福迫 直哉	前澤 正和	三嶽 祐介	矢澤 靖史	吉田 直幸
内木 清隆	中山 敬	長谷川 裕紀	福島 圭治	前門 博彰	緑川 孝之	安江 真樹	吉田 英明
内藤 裕哉	永山 誠	畑 和憲	福嶋 孝剛	前田 充	皆川 正樹	安田 純平	吉田 泰晃
中井 和幸	那須 久幸	畑山 文彦	福田 和之	牧 伸行	峰 裕一	安田 泰三	芳森 勝
中井 靖人	成田 雅晴	畑野 幸夫	福田 澄男	正岡 久	箕谷 誉子	安田 雄一郎	吉山 行男
中井 裕太	新居 洋海	蜂谷 俊教	福田 教夫	舛井 英幸	三村 正俊	八十島 晃	米川 恵
中尾 勝悟	二階 祥行	服部 進	福田 達郎	柗川 誠治	宮川 和之	矢田 雅彦	米田 司
中尾 良夫	荷川取 愛子	花井 一統	福田 芳則	増田 知之	宮川 貴道	柳 隆文	米山 和利
中川 潤	西尾 恵二	花井 貴史	福田 竜一	増田 亮	宮城 貞雄	柳田 亮	樂市 達哉
中川 伸昭	西尾 治彦	花岡 清一郎	福地 俊行	又吉 正樹	三宅 公司	矢野 和男	若林 吉男
中川 隼人	西岡 栄司	花岡 武一	福永 豊光	班目 敦	宮崎 貴史	矢野 克俊	涌澤 瑛二
中川原 洋平	西岡 円言	花城 悟	藤井 勝幸	松井 準次	宮嶋 寿	矢部 安男	和田 修吾
中込 一芳	西川 雄樹	花堂 伸二	藤井 智雄	松井 勇樹	宮田 秀一	山岸 正明	和田 清良
仲座 則夫	西郡 賀津成	濱岡 健太	藤岡 浩一	松尾 勝彦	宮田 浩孝	山口 耕司	渡邊 明
仲里 一利	西田 宜司	早坂 英二	藤川 詞継	松尾 隆	宮田 政幸	山口 伸輔	渡辺 憲一郎
中澤 和明	西田 俊彦	早坂 義信	藤川 久友	松尾 寿弘	宮地 勝之	山口 秀和	渡邊 聡士
中澤 宏紀	西田 浩士	林 敦	藤田 昇吾	松岡 達夫	宮本 崇司	山口 睦	渡邊 繁
中澤 正光	西田 浩也	林崎 裕	藤田 雅之	松澤 寛	宮本 武雄	山崎 和幸	渡辺 慎治
中塩 和佳	仁科 芳雄	原 和也	藤野 晃生	松下 智樹	明賀 清広	山崎 陽司	渡邊 廣志
中島 幸太郎	西部 祐次	原 久雄	藤野 圭二郎	松下 勇樹	明神 充敏	山路 智治	渡邊 満
中島 幸太郎	西丸 龍雄	原 由貴夫	藤村 和人	松田 全哲	三好 隆夫	山下 明彦	渡 智弘
中島 正則	西村 大吾	原島 啓	藤本 剛史	松田 正一	三好 貴士	山下 純宏	
中島 悠太	西村 常幸	張 洋彰	藤本 宰輔	松永 直人	三好 福弘	山下 達也	以上1031名
中田 工喜	西村 直登	半田 壮平	藤本 斉	松野 範雄	三輪 明男	山下 敏夫	
仲田 茂雄	西村 洋二	比嘉 重徳	藤原 由梨奈	松原 正成	向山 秀雄	山下 裕一	
仲田 慎一	西本 幸一	比嘉 大地	藤原 善輝	松村 雅司	牟田 好孝	山田 真司	
中田 紀一	丹生 隆之	比嘉 康志	二又 俊泰	松本 真宏	武藤 祐史	山田 豊実	
中田 佳宏	貫場 浩嗣	比嘉 康也	古市 泰久	松山 敦彦	村尾 直人	山田 裕之	
中地 啓介	温井 雅勝	比嘉 豊	古岩 憲二	真鍋 武史	村上 忠司	山田 誠	
永津 雅規	布目 修	東 憲二	古堅 守	間仁田 裕樹	村上 充	山田 康博	

# 蓄電池設備の認定について

蓄電池設備の認定は、総務省消防庁の登録認定機関として社団法人日本電気協会が行っています。

社団法人電池工業会は、総務省消防庁指定認定機関として行っていた、蓄電池設備の認定業務に関するノウハウと永年の実績を活かし、社団法人日本電気協会に協力して、当該蓄電池設備の認定業務を推進しています。

社団法人日本電気協会は、蓄電池設備の認定を行うに当たり、第三者で構成する「JEA蓄電池設備認定委員会」（以下、認定委員会）を設置し、「蓄電池設備資格審査登録」（以下、資格審査登録）、「蓄電池

設備の型式認定」（以下、型式認定）に関する審査、承認を行っています。認定委員会に先立ち、認定委員会幹事会（以下、幹事会）を開催し、「資格審査」並びに「型式認定」の申請書の内容につき審議し、合格と判定された申請案件が認定委員会に諮られます。

平成23年度は、認定委員会、幹事会共に4回開催し、資格審査登録は13件、型式認定は、蓄電池14件、蓄電池設備57件、外箱9件、合計80件を承認しました。平成23年度に承認された、資格審査登録及び型式認定の一覧は別表のとおりです。

## 平成23年度に承認された蓄電池設備資格審査登録事業者一覧

	資格審査登録事業者	登録番号	取得した蓄電池設備の区分	工場所在地
蓄電池設備資格審査登録	河村電器産業株式会社	1142	・外箱	・神奈川県厚木市
	株式会社初田製作所	1143	・蓄電池設備	・大阪府枚方市
	株式会社千代田	1144	・蓄電池設備 ・外箱	・埼玉県蕨市
	小松パワートロン株式会社	1145	・蓄電池設備 ・外箱	・石川県小松市
	日東工業株式会社中津川工場	1146	・外箱	・岐阜県中津川市
	ミドリ電子株式会社	1147	・蓄電池設備	・長野県千曲市
	株式会社エーピーシー・ジャパン	2100	・蓄電池設備 ・外箱	・千葉県市川市
	菱電湘南エレクトロニクス株式会社	2102	・蓄電池設備 ・外箱	・神奈川県鎌倉市
	ダイニチ電子株式会社	3136	・蓄電池	・神奈川県横浜市
	日東工業株式会社菊川工場	3137	・蓄電池設備 ・外箱	・静岡県菊川市
	株式会社大栄製作所	3138	・外箱	・神奈川県厚木市
	株式会社YAMABISHI	3139	・蓄電池設備 ・外箱	・神奈川県海老名市
	ミドリ電機製造株式会社	4061	・蓄電池設備	・福島県福島市

## 平成23年度に取得された蓄電池、蓄電池設備及び外箱の型式認定番号一覧

設備区分	設備の種類	型式認定番号	申請者(取得された登録事業者)	型式記号
蓄電池	ベント形据置鉛蓄電池	11C2113	株式会社GSユアサ	CS-C
		11C2115	古河電池株式会社	CS-H
	触媒栓式ベント形据置鉛蓄電池	11C2113E	株式会社GSユアサ	CS-EC
		11C2115E	古河電池株式会社	CS-HE
	制御弁式据置鉛蓄電池	11C3224	株式会社GSユアサ	MSE-S
		11C3232	株式会社GSユアサ	MSE-Y
		12C3201	株式会社GSユアサ	MSE
		12C3202	古河電池株式会社	MSE
		12C3203	新神戸電機株式会社	MSE
		12C3229	エナーシス ジャパン	MSE-V
	小形制御弁式鉛蓄電池	11C1101	株式会社GSユアサ	M
		11C1125	株式会社GSユアサ	M-S
		11C1126	古河電池株式会社	M-S
		12C1102	新神戸電機株式会社	M
蓄電池設備	直流電源装置	11A1228	株式会社GSユアサ	RL
		11A2393	株式会社GSユアサ	RL-E
		11A3213	株式会社GSユアサ	RA
		11A4190	株式会社GSユアサ	RAE
		11A1229	古河電池株式会社	RL
		11A2394	古河電池株式会社	RL-E
		11A2389	本多電機株式会社	RL-E
		11A3212	本多電機株式会社	RA
		11A4189	本多電機株式会社	RAE
		11A1227	株式会社富士電工	RL
		11A2390	株式会社富士電工	RLE
		11A2392	株式会社富士電工	RL-E
		11A6050	株式会社富士電工	RM
		11A2395	和晃技研株式会社	RL-E
		11A5049	和晃技研株式会社	RK
		11A6052	和晃技研株式会社	RM
		12A2396	和晃技研株式会社	RL-E
		12A2397	和晃技研株式会社	RLE
		11A2391	ユアサM&B株式会社	RLE
		11A6051	パナソニック電工株式会社	RM
	逆変換装置	11B3115	古河電池株式会社	RINB
	充電装置	11D728	新神戸電機株式会社	CE
		11D729	株式会社GSユアサ	CV
		11D730	株式会社GSユアサ	C-E
		11D731	株式会社GSユアサ	CE
		11D732	古河電池株式会社	CV
		11D733	古河電池株式会社	C-E

設備区分	設備の種類	型式認定番号	申請者(取得された登録事業者)	型式記号
蓄電池設備		11D734	本多電機株式会社	CE
		11D735	株式会社富士電工	CV
		11D736	株式会社富士電工	C-E
		11D737	株式会社明電舎	CE
		11D738	古河電池株式会社	CE
		11D739	芝電機株式会社	CE
		12D740	株式会社三社電機製作所	CE
	始動用電源装置	11G6260	本多電機株式会社	RL-EG
		11G6261	ダイシン電機株式会社	RL-EG
		11G6262	和晃技研株式会社	RLEG
		11G6263	ユアサM&B株式会社	RLEG
		11G6264	シンフォニアテクノロジー株式会社	RLEG
		11G7104	株式会社GSユアサ	RAG
		11G8113	株式会社GSユアサ	RAEG
	始動用蓄電池の充電装置	11H798	和晃技研株式会社	CEG
		11H799	古河電池株式会社	CEG
		12H800	新神戸電機株式会社	C-EG
	消火設備用電源装置	11P1053	日本フェンオール株式会社	RKP
		11P1054	エア・ウォーター防災株式会社	RKP
		11P1055	ニッタン電子株式会社	RKP
		11P1056	パナソニック電工株式会社	RKP
		11P1057	古河電池株式会社	RKP
		11P1058	株式会社富士電工	RKP
		11P2043	日本ドライケミカル株式会社	RMP
		11P2044	宮田工業株式会社	RMP
		11P2045	和晃技研株式会社	RMP
	ガス漏れ火災警報設備用電源装置	11J1011	パナソニック電工株式会社	RKJ
シャッター開放装置用電源装置	11S2032	ミドリ電機製造株式会社	RINBS	
	11S2033	東洋シャッター株式会社	RINBS	
	11S2044	サンケン電気株式会社	RINBS	
外箱	蓄電池外箱	11F308	和晃技研株式会社	CB
		11F309	株式会社GSユアサ	CB
		11F310	古河電池株式会社	CB
		11F311	株式会社明電舎	CB
		11F312	芝電機株式会社	CB
		11F313	株式会社三社電機製作所	CB
	屋外箱	11F798	ダイシン電機株式会社	CRB
		11F799	ユアサM&B株式会社	CRB
		11F800	シンフォニアテクノロジー株式会社	CRB

# 平成23年度第4回一次電池部会開催

平成24年2月22日、機械振興会館において中村部会長（日立マクセルエナジー（株））を議長に、平成23年度第4回一次電池部会を開催した。部会長挨拶および専務理事挨拶に続き、事務局報告、各委員会からは平成23年度活動報告と平成24年度活動計画が報告された。

## 1. 中村部会長挨拶

アメリカ、ロシア、フランス等のトップが変わる年でもあり、国際情勢に不安感がある。また、円高、材料高騰など経営を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いている。このようなことを踏まえると、本年も厳しい状況が続くものと思われるが、電池工業会一次電池部会活動を通じて一次電池事業に貢献をしていきたい。



## 2. 中谷専務理事挨拶

電池工業会として、経済産業省及び環境省の二つのリサイクル関連小委員会に委員として参画し、発言も求められている。リサイクルについては、今は機器組み込みの二次電池を中心に話がなされている。今後の対応については会員各社の皆さまと一緒に考えていきたい。本年もよろしくお願ひしたい。

## 3. 事務局報告

・平成23年1～12月の電池販売数量・金額は、全電池合計で、前年比 数量で97%、金額で94%であった。一次電池合計では、前年比 数量で99%、金額103%であった。二次電池合計では、前年比 数量で93%、金額で92%であった。

## 4. 委員会報告

### (1) 広報総合委員会 (高尾委員長)

・H23年度の活動実績は、消費者向けに「電池の安全で正しい使い方」に加え「電池の正しい廃棄方法」の啓発を実施した。①電池PRキャンペーンでは、電池月間（11/11～12/12）を中心に啓発広告

を新聞や雑誌に掲載した。また、7月と11月には別個に一般紙で6回啓発記事広告を掲載した。②手づくり乾電池教室では、北海道から沖縄まで公募で30か所の要請があり、独自開催まで含め、約2,500名の子どもの参加があった。③ホームページでは、内容のアップデート及び新規「なるほど電池Q&A」を掲載しました。④啓発用小冊子更新、啓発ポスター更新、みらいのでんちアイデアコンテスト、等は例年通り実施した。⑤名古屋でんちフェスタは、7/16（土）名古屋市科学館で実施した。⑥関西でんちフェスタは、9/10（土）～9/11（日）にキッズプラザ大阪で実施した。⑦でんちフェスタは、11/5（土）に日本科学未来館で実施した。

・H24年度の活動計画は、昨年度に引き続き消費者向けに「電池の安全で正しい使い方」に「電池の正しい廃棄方法（電池を使い終わったら・・・）」を広く発信していく。①電池PRキャンペーンは、前年度に引き続き、一般紙、業界紙、雑誌等の媒体を用いて消費者に向け広く発信する。②手づくり

乾電池教室は、教室の中で電池の啓発を行うとともに、社会貢献事業としてもアピールする。③みらいのでんちアイデアコンテスト、ホームページの更新、啓発用小冊子更新、啓発ポスター更新、等は継続実施する。④名古屋でんちフェスタは、7/31（火）に名古屋市科学館で実施予定。⑤関西でんちフェスタは、8/28（火）にこべっこランド（神戸）で実施予定。⑥でんちフェスタは、11/3（土）に日本科学未来館で実施予定。

## **(2) 器具委員会** **(大井委員長)**

- ・ H23年度の活動実績は、携帯電灯SBA S 1601規格改訂の検討を行った。改訂内容の概要は、現行のSBA S 1601規格を踏襲し、ANSIの内容を盛り込むものとした。また、充電式専用タイプは外し、明るさの規格をさらに追加する。耐水性試験もIEC規格を引用し、IPX1～8の細分化を盛り込む予定。光束測定技術に関しては、機器メーカーとのディスカッションを行った。また、異業種工場見学はリサイクル工場の見学を行った。
- ・ H24年度の活動計画は、携帯電灯SBA S 1601規格改訂の作業を継続し、改訂版の発行を行う予定。より使いやすい規格にするために、製造メーカーでの試験やANSI規格、中国規格の整合性をはかる。明るさの表示については、現状市販品の実態調査を行い広く使われる規格に仕上げる予定。

## **(3) 資材委員会** **(佐藤委員長)**

- ・ H23年度の活動実績は、①ニッケル関税の税制の検討 ②電池主要材料5アイテムの市場調査の実施 ③資材調達自主統計資料作成 等の活動を実施した。
- ・ H24年度の活動計画は、引き続き①ニッケル関税の税制の検討 ②電池主要材料5アイテムの市場調査の実施 ③資材調達自主統計資料作成 ④勉強会、等を行う予定。

## **(4) 業務委員会** **(平石委員長)**

- ・ H23年度の活動実績は、①機械統計資料や自主統計資料の分析およびHPへの掲載 ②需要予測の実施およびHPへの掲載 ③電池適正表示基準を見直し、2010年4月付けで改訂版を発行 ④コンプライアンスルールについて検討、等の活動を実施した。

- ・ H24年度の活動計画は、①機械統計資料や自主統計資料の分析 ②需要予測の実施 ③電池適正表示基準を見直し、④海外市販電池の含有元素分析、等を実施予定。

## **(5) PL委員会** **(兼城委員長)**

- ・ H23年度の活動実績は、①安全啓発説明会を、和歌山県と兵庫県で実施 ②3つのPL委員会の合同委員会を行い、意見交換を行った ③ホームページのPL関連内容の検討 ④重要クレーム情報の集計および分析、等の活動を実施した。
- ・ H24年度の活動計画は、①前年度の電池重要クレーム情報の纏めおよび消費者への啓発ポイントのHP掲載 ②合同PL委員会の開催および他業界との意見交換 ③公的機関からの要請に基づく安全啓発活動の実施、等の活動を実施予定。

## **(6) 技術委員会** **(都築委員長)**

- ・ H23年度の活動実績は、①JIS C 8500およびJIS C 8515の改正原案の作成 ②IEC国際会議への参画および課題の審議 ③リチウム電池輸送規制強化に向けての対応 ④IEC62281規格、IEC60086-4規格のメンテナンス作業実施 ⑤ホームページ記載内容の改訂、等を実施した。
- ・ H24年度の活動計画は、①JIS C 8514の改正原案作成および審議 ②IEC60086-1, IEC60086-2, IEC60086-4, IEC60086-5の改正原案作成および審議 ③IEC/TC35の国際幹事国業務の推進 ④国際会議等への参画および対応 ⑤各国法規制関連および安全輸送への対応、等の活動を実施予定。

## **(7) 国際環境規制総合委員会** **(江川委員長)**

- ・ H23年度の活動実績は、①世界の電池環境規制冊子の発行 ②海外の環境関連法・規制への対応 ③国際会議・フォーラムへの出席 ④中南米の環境法規制現地調査および現地電池工業会との交流 等を実施した。
- ・ H24年度の活動計画は、①世界の電池規制冊子の改訂版発行 ②海外の環境関連法・規制への対応 ③国際会議・フォーラムへの出席、等の活動を実施予定。

以上

わが国における乾電池の始祖と言われている屋井先蔵氏は、文久3年（1863年）12月5日に越後長岡で生まれました。父母の名前は不詳であるが、父は文武両道に通達した人で、特に数理に長じていたと言われています。

明治元年、6歳の時に父を失って叔父に当たる人の世話になっています。明治8年、13歳の時に単身郷里を出て、1週間かけて三国峠を越え東京に上り、神田の時計店に奉公しました。しかし慣れぬ土地での過重な勤めに健康を害し、2年余りで帰郷するのやむなきに至りました。郷里に帰った氏は十分に静養する暇もなく、明治10年から17年まで長岡の時計店で奉公しました。この間、機械に強い興味を持っていた氏は、16歳の時永久動力機械の発明に着想したと伝えられています。

向学の念に燃える氏は、長岡の時計店の店主の慰留を謝絶して、明治17年22歳の時、意を決して再び上京しました。東京では遠縁に当たる石黒忠篤氏（のちの陸軍軍医総監）の家に身を寄せました。この間は物理学校に通学しましたが、間もなく退学しました。

その後、氏の叔父に当たる屋井卓氏が経営していた日本教育品製造会社に職工として入社しました。

屋井氏は、時計店や日本教育品製造会社に在職中も連続して電気時計の発明に腐心し、その動力源としての電池の研究を進めました。電池の研究では、ダニエル電池やルクランシェ電池の改良を行い、乾電池の試作にも成功しました。

明治18年に教育品製造会社を退いてからは、下谷御徒町にささやかな実験室を設けました。これが屋井乾電池の創業が明治18年（1885年）と伝えられるところになります。乾電池の改良研究は絶えることなく続けられましたが、容易に満足するものは得られませんでした。しかし、明治20年（1887年）に至って偶然にもカーボンのパラフィン処理に成功し、ここに一応の完成品となったようです。その時の乾電池がどんなものだったかは知るだけの資料はありませんが、48（幅）×88（長さ）×118（高さ）mmぐらいのものであっただろうと言われています。

明治24年に29歳で結婚、同年わが国における電気に関する最初の特許と言われる電気時計の特許（第1205号）を取得しています。明治25年には、米国シカゴ市で開催された万国博覧会に出品した東京帝国大学理学部製作の地震計に屋井乾電池が使用され、屋井乾電池の優秀性を国内外に広めることとなります。また、明治26年10月12日には特許第2086号をもって、屋井氏は乾電池に関する特許を得ることとなります。日清戦争では、満州の寒冷地に於いて陸軍の通信機器の電源として屋井乾電池が使われ、絶大なる効力を発揮しました。当時、その事情を内外の新聞が報道したため、屋井乾電池は面目を施し業績は著しく進展しました。

一方、工場は浅草七軒町から黒門町へ移り、次第に拡張されていきました。明治40年には神田錦町に販売部を設け、屋井乾電池の基礎は確固たるものになっていきました。明治43年には工場を黒門町から神吉町に移し、大正12年には下谷日暮里に移転しました。しかし、大正12年の関東大震災で不幸にも焼失しています。再建した工場も昭和2年に再び火災に遭い、失うこととなります。そこで、一気に川崎市並木町に工場を移し、火災に強い当時としては斬新な工場の建設を行いました。

新工場の建設も終わり、いよいよ益々の発展をしようとした矢先の昭和2年5月に、屋井氏は胃ガン患入院することになります。しかし、入院後僅か10日で急性肺炎を併発して死亡しました。享年65歳でした。



屋井 先蔵

# 平成23年 3月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	3日(金)	広報総合委員会	H23年度活動結果まとめ、H24年度活動計画審議、他。
	15日(水)	172回講習実施委員会	広島県、福岡県にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、可否を判定。
	15日(水)	T29回JEA蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備資格審査案件6件及び蓄電池設備の型式認定案件12件を審議し、全件を承認した。他。
	22日(水)	ボタン電池運営委員会	平成24年度事業計画審議、他。
二次電池部会	2日(木)	SBRA/特利委員会	新BAJ自主スキーム審議。
	3日(金)	自動車鉛分科会	IEC,SBA改正審議、他。
	9日(木)	電気車鉛分科会	SBA改正審議、安全表示ガイドライン改正審議、他。
	9日(木)	SBRA/特利委員会	平成24年度活動計画審議。
	13日(月)	資材委員会	平成23年度事業報告及びH24活動計画審議、他。
	15日(水)	据置鉛分科会	SBA改正審議、安全表示ガイドライン改正審議、他。
	15日(水)	自動車電池委員会	リサイクルの広報時期及び進捗審議・活動計画審議、他。
	16日(木)	産業用電池技術サービス分科会	蓄電池設備整備資格者再講習テキスト見直し審議、他。
	17日(金)	用語分科会	SBA技術標準審議、他。
	17日(金)	充電器分科会	SBA S 0903「据置蓄電池キュービクル」改正審議、「表示ガイドラインチェックリスト」、「単線結線図の記載要領」の見直し審議、他。
	22日(水)	EV用電池委員会	IEC,SBA改正審議、他。
	22日(水)	SBRA/特利委員会	新BAJ自主スキーム審議。
	24日(金)	据置アルカリ分科会	IEC,SBA改正審議、他。
	29日(水)	SBRA/特利委員会	新BAJ自主スキーム審議。
小形二次電池部会	3日(金)	据置LIB分科会	JIS C 8715-2 産業用リチウム二次電池の単電池及び電池システム 第2部 安全性要求事項 原案作成開始
	8日(水)	ニカド・ニッケル水素分科会	JIS C 8708 改正版 解説審議。
	8日(水)	据置LIB分科会	JIS C 8715-2 産業用リチウム二次電池の単電池及び電池システム 第2部 安全性要求事項 原案審議。
	9日(木)	据置LIB分科会	JIS C 8715-2 産業用リチウム二次電池の単電池及び電池システム 第2部 安全性要求事項 原案審議。
	13日(月)	リチウム二次分科会	JIS C 8711改正版 解説審議。
	13日(月)	法規ワーキンググループ	LIB使用の消防設備機器 基準案審議。
	14日(火)	PL委員会	今年度の総括と、来年度の計画について。
	15日(水)	据置LIB分科会	JIS C 8715-2 産業用リチウム二次電池の単電池及び電池システム 第2部 安全性要求事項 原案審議。
	17日(金)	小形二次技術委員会	標準化委員会規定、標準化規定の見直し SBA規格の見直し。
	20日(月)	LIB安全性技術委員会	内部短絡試験の技術的な対応。
	22日(水)	小形二次技術委員会 108対応小委員会	IEC 62368-1 Ed.2 のCDVに関するコメント検討。
	23日(木)	据置LIB分科会	蓄電池設備認定基準II審議、JIS C 8715-2 産業用リチウム二次電池の単電池及び電池システム 第2部 安全性要求事項 原案審議。
	23日(木)	小形二次 部会	各委員会報告・審議。
	24日(金)	業務委員会	出荷投票実績確認。
一次電池部会	27日(月)	国際電池規格委員会	IEC規格、ANSI規格、UL規格、欧州容量表示規制審議。
	28日(火)	国際電池輸送委員会	リチウム電池の航空輸送規制強化への対応。
	15日(水)	規格小委員会	JIS C 8500、JIS C 8515、IEC60086シリーズ改正審議。
	16日(木)	技術委員会	各小委員会活動報告、他。
	17日(金)	リチウム小委員会	IEC60086-4 CD/IEC62281 CDVの審議、ICAO WG対応、他。
	24日(金)	資材委員会	電池主要材料5アイテムの市場調査、輸入関税の税制調査、他。

**iPad\*<sup>1</sup>も充電できる大容量！**  
**うすさ13.5mmで携帯ラクラク モバイル充電バッテリー**  
**「mobile VOLTAGE (モバイルボルテージ)」 4000mAh\*<sup>2</sup>タイプを新発売**

日立マクセル株式会社



MLPC-4000BK



MLPC-4000WH



モバイル充電バッテリー「mobile VOLTAGE(モバイルボルテージ)」

日立マクセル株式会社（取締役社長：千歳 喜弘、以下マクセル）は、モバイル機器に外付けできる「うすく」で「大容量」のモバイル充電バッテリー「mobile VOLTAGE (モバイルボルテージ)」4000mAh\*<sup>2</sup>タイプを2月25日より順次発売します。

- ◎iPad\*<sup>1</sup>とスマートフォン、またはスマートフォンを2台同時に充電可能。
- ◎ポリマーリチウムイオン電池を採用し4000mAhの大容量で持ち運びに便利なうすさ約13.5mmを実現。
- ◎モバイル機器にピタッとつけて、片手で使える「もばびたシート」を付属。
- ◎バッテリー残量（充電状態）を表示する4段階LEDを搭載。

スマートフォンやタブレット端末、モバイルルータなどの普及にともない、普段の生活の中で複数のモバイル機器を使う場面が増えています。また、新しいスマートフォンで対応となった新高速移動通信

システムの登場によりモバイル機器の電力消費量が増加することで、携行できる補助電源の必要性が高まるものと見込まれます。

本製品は4000mAhの大容量に対応しており、USB出力端子を2つ備えているので、スマートフォンを2台同時に充電できるほか、一方の出力端子を5V/2.1Aの高出力対応としたことによりiPadの充電も可能になりました。また、薄さ約13.5mmで文庫本よりも小さいコンパクトなサイズのため、ビジネスシーンなどでいざというときのために、スーツや女性用バッグの内ポケットなどに入れて手軽に持ち歩くことができます。さらに、両面の吸盤でモバイルボルテージを機器に固定できる「もばびたシート」を付属したほか、テザリング機能を使うときに安定して置きやすい、薄くてフラットなデザインとしました。

マクセルは今後ともスマートフォンをはじめとするモバイル機器用電池製品を、市場のニーズに応じて、ラインアップの拡充を図っていきます。

## <製品情報>

タイプ	容量*2	型番	カラー	付属品		発売日	価格
				もばびたシート	充電用ケーブル		
モバイル 充電バッテリー	約4000mAh	MLPC-4000BK	ブラック	あり	1本	2月25日	オープン プライス
		MLPC-4000WH	ホワイト			3月予定	

## 【主な特長】

### 1.iPad\*1とスマートフォン、またはスマートフォンを2台同時に充電可能

出力1 (OUT1) にDC5V/0.5A のUSB端子を、出力2 (OUT2) にDC5V/2.1AのUSB端子を備えていますのでiPadとスマートフォンを同時に充電できます。またスマートフォンなら2台同時に充電が可能です。複数のモバイル機器を使いこなすパワーユーザーの要求に応えます。

### 2.ポリマーリチウムイオン電池を採用し4000mAh\*2の大容量で持ち運びに便利なうすさ約13.5mmを実現

スマートフォン2台が充電できる大容量4000mAhにもかかわらず、持ち運びに便利なうすさ約13.5mmを実現しました。

スーツやバックの内ポケットに入るコンパクトサ

イズです。また、うすくてフラットなデザインの為、テザリング機能を使うときにスマートフォンをモバイルボルテージの上に置きやすく安定させて使用することができます。

### 3.モバイル機器にピタッとつけて、片手で使える「もばびたシート」を付属

両面の吸盤で、お手持ちのモバイル機器に「mobile VOLTAGE」をピタリと吸着（取り外しもできます）。充電しながらでも片手でラクラク操作できるスマートなスタイルを実現します。

### 4.バッテリー残量を表示する4段階に光るLEDを搭載

充電・残量の情報を5段階に分けて、LEDでシンプルに表示します。

## <製品仕様>

型番	MLPC-4000BK	MLPC-4000WH
内蔵電池	充電式ポリマーリチウムイオン電池 (3.7V/4000mAh*2)	
入力端子	USB Micro-B	
出力端子	USB Standard-A×2	
入力電圧/電流	DC5V/0.5A	
出力電圧/電流 (OUT1)	DC5V/0.5A	
出力電圧/電流 (OUT2)	DC5V/2.1A	
本体質量	約130g (付属品を除く)	
外形寸法	幅74mm×高さ115mm×厚み13.5mm (突起部を除く)	
付属品	内蔵電池充電用ケーブル (約15cm) ×1本 もばびたシート×1個	

\*1 iPhone/iPod/iPadシリーズを使用する場合は、それぞれの機器に付属のケーブルが必要です。

\*2 当社試験結果に基づく目安です。

※ iPhone/iPod/iPadは米国およびその他で登録されているApple Inc.の商標または登録商標です。

※ 本リリースに記載されている「もばびたシート」「もばびた」は日立マクセル株式会社の商標または登録商標です。

※ ACアダプタは付属していません。

## 12月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2011年12月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

（2009年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「二輪用」が含まれました）

（2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました）

（2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました）

（2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました）

（2011年6月より経済産業省の機械統計が「酸化銀電池」に「その他の乾電池」が含まれました。）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	465,104	63,771	90%	101%	5,344,597	679,264	96%	93%
一次電池計	320,285	11,354	94%	101%	3,497,503	113,954	98%	99%
酸化銀電池	89,747	1,767	98%	126%	1,058,744	18,821	99%	122%
アルカリ乾電池計	147,288	6,575	95%	98%	1,401,719	59,228	108%	105%
単 三	80,534	2,915	93%	94%	772,800	26,847	105%	98%
単 四	39,463	1,496	91%	94%	369,892	12,892	107%	100%
その他	27,291	2,164	105%	107%	259,027	19,489	119%	118%
リチウム電池	83,250	3,012	90%	95%	1,037,040	35,905	87%	83%
二次電池計	144,819	52,417	83%	101%	1,847,094	565,310	91%	92%
鉛電池計	3,466	17,164	107%	111%	31,148	159,291	98%	107%
自動車用	2,788	11,608	109%	110%	22,933	94,562	97%	104%
その他の鉛蓄電池	678	5,556	97%	112%	8,215	64,729	101%	111%
アルカリ蓄電池計	52,950	17,622	95%	141%	597,604	155,440	89%	93%
ニッケル水素	40,090	15,907	97%	152%	410,276	130,575	91%	95%
その他のアルカリ蓄電池	12,860	1,715	88%	82%	187,328	24,865	84%	85%
リチウムイオン蓄電池	88,403	17,631	76%	74%	1,218,342	250,579	92%	85%

## 12月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2011年12月）

単位：数量－千個、金額－百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	209,273	25,138	86%	87%	2,629,207	310,773	90%	92%
一次電池計	98,598	2,095	96%	100%	1,189,179	24,992	95%	97%
マンガン	839	24	62%	66%	11,012	297	102%	104%
アルカリ	6,016	114	35%	49%	152,657	2,399	75%	73%
酸化銀	48,255	675	132%	175%	515,109	6,876	106%	133%
リチウム	43,387	1,278	95%	98%	499,537	14,644	94%	91%
空気亜鉛	68	1	4%	3%	10,213	111	57%	46%
その他の一次	32	2	140%	2%	652	665	26%	92%
二次電池計	110,675	23,043	78%	86%	1,440,028	285,781	86%	92%
鉛蓄電池	156	862	84%	102%	1,584	8,166	93%	109%
ニカド	9,791	859	84%	83%	148,863	13,274	80%	79%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	2	7%	127%
ニッケル水素	14,621	3,917	81%	97%	157,196	46,199	85%	101%
リチウムイオン	79,655	14,600	75%	78%	1,058,773	195,855	89%	88%
その他の二次	6,453	2,804	142%	142%	73,612	22,285	73%	134%
全電池合計（輸 入）	91,073	7,771	88%	103%	1,481,984	101,637	139%	113%
一次電池計	82,600	1,007	86%	95%	1,381,785	19,222	141%	158%
マンガン	13,323	118	49%	46%	307,809	3,591	122%	142%
アルカリ	54,884	603	92%	103%	916,468	11,661	159%	197%
酸化銀	522	13	80%	115%	4,719	101	82%	65%
リチウム	9,965	216	148%	138%	99,020	2,841	97%	120%
空気亜鉛	3,529	46	224%	177%	38,240	550	173%	149%
その他の一次	376	12	47%	77%	15,529	479	80%	56%
二次電池計	8,473	6,764	111%	104%	100,199	82,415	112%	106%
鉛蓄電池	647	2,275	91%	94%	8,581	27,622	114%	111%
ニカド	710	208	96%	122%	7,362	2,107	95%	79%
ニッケル鉄	0	1	3%	26%	66	14	83%	65%
その他の二次	7,115	4,281	116%	110%	84,190	52,672	114%	105%